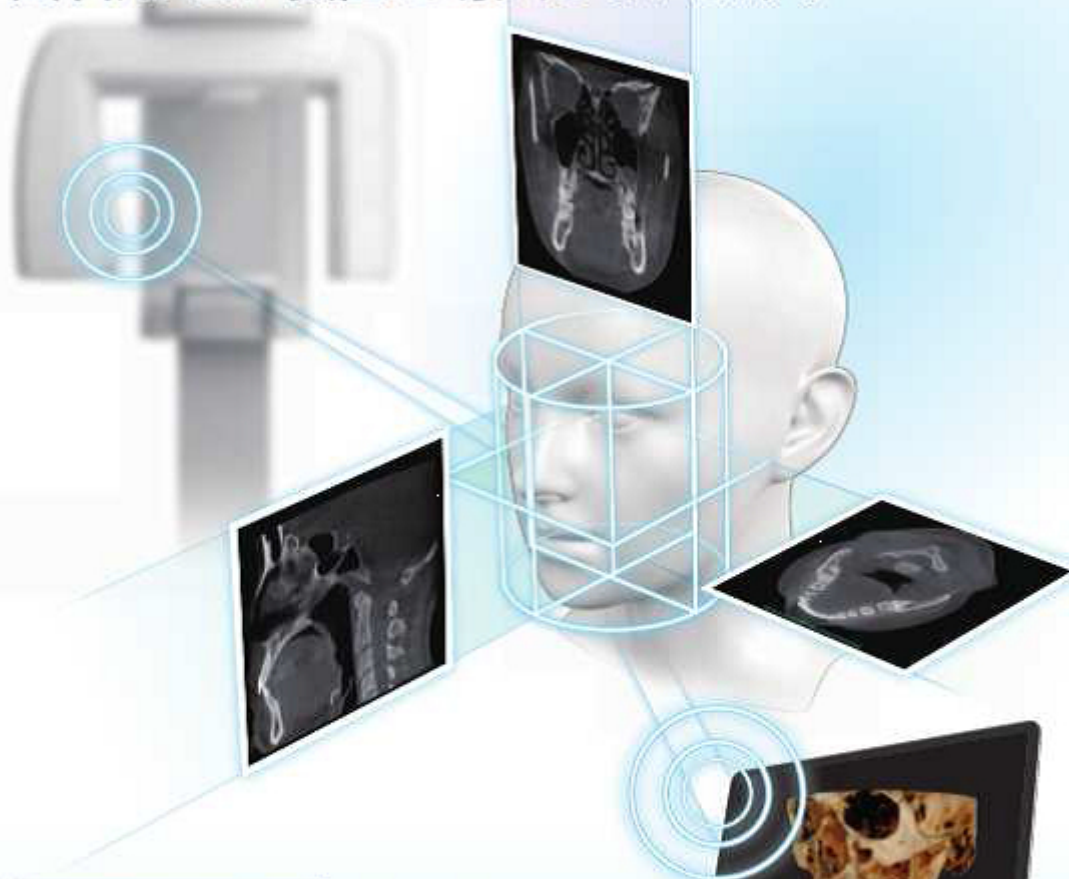


当医院では、被ばく線量の少ない高画質な
歯科用 CT 装置を導入しています。



被ばく線量の目安について

- | | |
|-------|---------------------------------------|
| 1 | 1人あたりの自然放射線
2.4mSv / 年間 世界平均 |
| 2 | 1人あたりの自然放射線
2.1mSv / 年間 日本平均 |
| 1 | 胸の X 線検査 0.6mSv
東京・NY 間往復航空 0.2mSv |
| 0.1 | 歯の CT 撮影 0.1mSv |
| 0.01 | 歯のパノラマ撮影 0.014-0.024mSv |
| 0.005 | 歯のデンタル撮影 0.005mSv |

参考：ICRP2007 年報、ノースカロライナ州立大学
研究データ等を元に作成されたグラフにて作成

歯科用 CT 装置とは、従来の CT 装置
と比べ、X 線の照射領域を必要最小限
に調整可能なレントゲンで、安心して
撮影していただける CT 装置です。

CT 装置で診断する目的とは

CT 画像は、インプラントや歯周病などの高度歯科治療の診断
に有効であり、従来の平面画像では難しいとされた、骨幅の
確認などが行えます。CT 撮影で様々な角度から診断すること
で、安全な診査・診断、治療計画に役立てます。

詳しくは院長 または、スタッフにご相談ください。